



韓国の宗教

全羅南道・釜山の旅④

昭和五十七年に初めて韓国を訪れた。ソウルからセマウル号で釜山に南下した際、車窓の風景で一番印象に残ったのは教会が多いことである。

とんがり帽子の屋根の上には十字架があるの

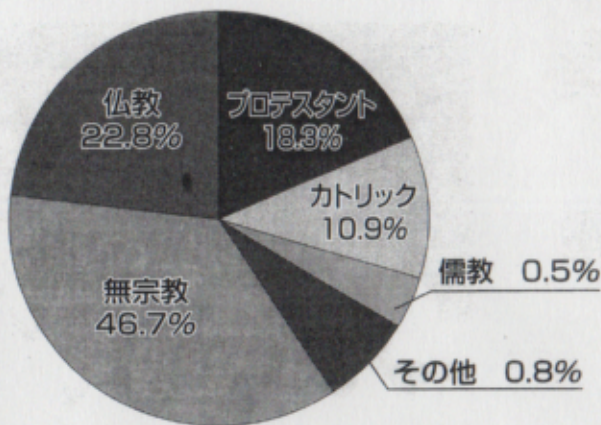
で遠くから見てもすぐ教会だとわかる。韓国は儒教の国だと思っ

は煙突が多いという印象は全くなかった。この三十年の韓国の経済成長は目覚ましく、個人の家に風呂が普及したのだろうと推測している。

一方、教会の方は今も街のあちこちで見かけた。特に夜、ネオンサインの輝く十字架に驚く。目立つのは確かであるが、日本では見られないネオンサインの十字架にはちょっと違和感を持つ。

帰国して韓国の宗教について調べてみた。

韓国の宗教人口は全人口の五三%にあたる二千四百九十七万人、図のように儒教は国民の1%にも達していない。李王朝時代の約五



韓国の宗教別人口

回の旅で

百年間、

儒教は国

教とされ

ていたの

に、なぜ

こんなに

少ないの

だろう

か。

それと

比較して

プロテス

タントと

カトリッ

クを合わ

せると仏教の二二・八

%をも上まわってキリ

スト教が断然トップの

二九・二%。国民の約

三割がキリスト教徒で

あり、各地で教会を見

かけたのはその結果だ

ろう。アジアではフィ

リピンに次いでキリス

ト教徒が多い国なので

ある。

なお、世界人口の約

四割といわれるイスラ

ム教は日本同様、一%

にもみたくない。

夏に家族で釜山に行

った時、レンタカーの

運転手に、以前から交

流している「水晶教会」

にと言うと、連れて行

かれたのはプロテスタ

ントの教会だった。

韓国では「教会」と

いえばプロテスタント

を意味し、カトリック

は「天主教」、建物は「聖

堂」と呼ばれている。

キリスト教は日本と

は比較できないほど社

会に大きな影響力を持

ピンボケで申し訳ないがネオンで輝く十字架



を意味し、カトリックは「天主教」、建物は「聖堂」と呼ばれている。

キリスト教は日本とは比較できないほど社会に大きな影響力を持っている。ちなみに現大統領の李明博氏はプロテスタント、前大統領の金大中氏はカトリック信徒である。

しかし、日本同様、韓国のキリスト教も厳しい迫害の歴史がある。

一八四五年、中国で司祭になった金大建（キム・デゴン）は朝鮮に帰国してキリスト教の布教を始めたが、儒教に反する邪教として弾圧され、帰国翌年、信徒百三人とともに処刑された。韓国の

カトリック教会は日本のように外国の宣教師によって広まったのではなく、自国民の金大建によってもたらされたことを非常に誇りに思っている。

カトリックより少し遅れてメソジスト派や福音派の外国人宣教師によって韓国に伝えられたプロテスタントは、抗日運動や教育活動で国民の信頼を得て信徒数を大幅に伸ばし、現在、カトリックの倍近くの国民の一八・三%を占める。

とにかく数は力ではないが、韓国のキリスト教には勢いを感じ

る。（元山口放送取締役ラジオ局長）